

全国農業

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

2025年(令和7年)

11月28日

金曜日
月4回金曜日発行

東日本版

規模拡大、法人化に意欲

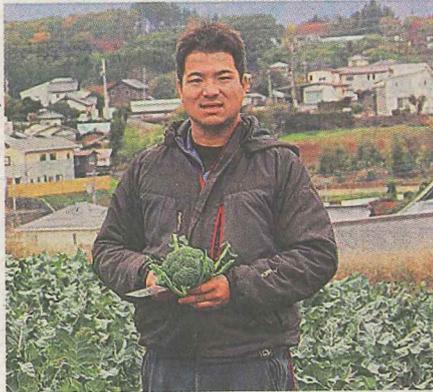
〈山梨・北杜市 清水宏紀さん〉

Uターン就農、研修生受け入れも

【山梨】北杜市長坂町でスイートコーンやミニトマト、ブロッコリー、長ネギを栽培している北杜ファームの清水宏紀さん(30)の写真。

同市出身の清水さんは、農業科の高校教師を務めながら米を栽培する父の姿を幼少期から見ていたことから、農業を常に身近に感じていた。

高校卒業後、県立農業



大学校(現農林大学校)に進学し、卒業後は北海道の農業法人に就職。養豚とピーマンの栽培のほか、新規事業所の運営補



北杜ファームホームページの二次元コード

助などを4年間経験した。その後、北杜市の農業法人で2年間野菜栽培を学んだ後、21年に同ファームを立ち上げた。

当初60坪からスタートした栽培面積は5畝まで拡大。品目は10種類から4種類に絞ったが、栽培量を増加させた。

清水さんは「今後さらなる規模拡大や法人化も検討している。研修生などを受け入れるなかで、農業者が働きたいと思えるような環境作りもしていきたい」と語る。